



2017年11月1日

各位

株式会社 I H I  
東京都江東区豊洲三丁目1番1号  
代表取締役社長 満岡 次郎  
(コード番号 7013)  
問合せ先 取締役執行役員 山田 剛志  
財務部長  
T E L 03 - 6204 - 7065

## 関係会社株式評価損等（個別決算）及び営業外損失の計上に関するお知らせ

当社は、2018年3月期第2四半期の決算において、下記のとおり、海外連結子会社に係る関係会社株式評価損等115億円（個別決算）を特別損失として、また、民間向け航空エンジン事業に係る契約調整負担金64億円を営業外損失として計上しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 海外連結子会社に係る関係会社株式評価損等（個別決算）の内容

当社グループが北米で遂行中のプロセスプラント案件で、当初見積時から物量が増加したため、調達費や建設費が増加するとともに工程遅れが生じ、建設計画全体の見直しが必要となりました。これに伴い、工程キャッチアップのための費用を当第2四半期に織り込んだことにより、当該案件の工事原価見通しが前四半期末に比べて増加し、採算が悪化いたしました。

この結果、当社の子会社（米州統括会社）であるIHI INC.の純資産が毀損し、保有するIHI INC.株式の実質価額が帳簿価額から著しく下落したため、株式価値の回復可能性を検討してまいりましたが、当面の回復は難しいと評価し、当社の個別決算において関係会社株式評価損等115億円（関係会社株式評価損99億円、関係会社損失引当金繰入額16億円）を特別損失として計上しました。

なお、この関係会社株式評価損等は、当該子会社が連結子会社であるため、連結財務諸表上は消去され、連結業績への影響はありません。

#### 2. 民間向け航空エンジン事業に係る契約調整負担金の内容

当社が参画しているエンジンプログラムにおいて、お客さまとの契約に関連する一時的な費用負担が発生することとなりました。この負担は、お客さまに納入する予定のエンジンの一部を運航サポート用のスペアエンジンへ振り向けることによるものです。これに伴い、当社はプログラムメンバーとして負担する見込み額64億円を営業外損失として計上しました。

#### 3. 連結業績予想への影響

上記1.の北米で遂行中のプロセスプラント案件の採算性の悪化、及び上記2.の契約調整負担金について、当第2四半期の連結決算へ織り込みましたが、一方で資源・エネルギー・環境を除く各報告セグメントで増益が見込まれるため、2018年3月期通期の連結業績見通しは、2017年8月8日公表の連結業績予想から変更ございません。

以上